

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第89号 平成24年5月31日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 佐伯晴子
発行責任者 南 圭三郎

目次

農家さん訪問記 (73)	p. 1
住友化学アグログループ紹介 住化農業資材(株)	p. 5
食の安全性について考える(28)	p. 6
今月のお奨め農薬	p. 7
今月のご相談から	p. 8
お役立ちプチ情報	p. 9
農薬登録情報	p. 10
病虫害発生情報	p. 10
新企画スタート 通販のご紹介 (日本エコアグロ(株))	p. 12
トピックス「スミチオン剤発売50周年 記念講演会・パーティーを開催」	p. 13
最近の「お・・美味しい！」	p. 14
編集後記	p. 15



ノビタキ (ツグミ科) とタニウツギ (スイカズラ科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(73)

鳥取砂丘で特産のらっきょうと二十世紀梨を栽培

4月5日、鳥取空港に向けて羽田を飛び立ったジェット機が徐々に高度を下げていくと、眼下の棚田に白い雪がまだ残っていました。空港に着陸した後、バスで鳥取駅前のホテルまで行く途中に桜並木がありましたが蕾はまだ固いまでした。

翌日、鳥取市福部町(鳥取砂丘に接した東側)にお住まいの西尾祥幸(よしゆき)さん(43歳)を訪ねました。西尾さんは現在らっきょうを4ヘクタール、青梨(品種名:二十世紀梨)を30アール栽培しています。らっきょうは福部町内で約100ヘクタール栽培され、県の全体の作付面積(約

200ヘクタール)の半分を占めるという代表的な産地です。らっきょうは全国で1000ヘクタール栽培されていますが、普段なじみのある割には意外と少ないと感じませんか?実は市場に出回っているらっきょうの9割は中国産で加工品を輸入したもののなのです。

風雪を耐えたらっきょうはシャキッとした色白美人

西尾さんのらっきょう栽培は、冬の日本海から吹きつける激しい風雪や、福部町の土壌が砂地で細かい粒子のため、肥料を入れても流れてしまう特性を、逆に活かしています。冬が厳しければ厳しいほど、色白で堅く引き締まったらっきょうに育ちます。また、肥料が流れると白



西尾 祥幸さん

くて見た目も綺麗になり、シャリシャリ感が増すのです。そのお蔭で「砂丘らっきょう」というブランド名で、日本で一番高く売れるのだそうです。

らっきょう栽培の収支についてお尋ねしました。まず、10アール当りの収穫量は目標2トンとのこと。らっきょうの出荷形態は土付きと、洗い(土と根を取り除いたもの)の二種類あります。販売価格は土付きが400~500円/kg、洗いが500~600円/kgです。一方、経費には、種、肥料、農薬に加え、種の植え付け時に頼む人手と、掘り取ったらっきょうを切り揃えるのにかかる人件費などがあり、売上げの8割程度が経費となるそうです。

らっきょう栽培では機械化できるのが、収穫時の掘り採りだけです。まずバリカンのような鋏で地上部を刈り取り、その後大きな芋掘り機のような機械で掘ります。植え付けや収穫後の切り揃えは手作業です。大手農機メーカーがらっきょうの植え付け機を開発しようとしたのですが、上手くいかず撤退しています。現在は中小の農機メーカーが補助金を受けて種植えの機械を開発中です。

種植えは一日中稲の苗を手で田植えするように中腰で行なうため、作業の翌日は腰が痛くなります。植え付け時期が7月下旬~8月いっぱい、学校が夏休みになるので、高校生のアルバイトも雇っています。つらい作業ですが、大人並みの賃金を払うので喜んで来てくれるそうです。

昨年に植えたらっきょうの収穫時期は今年の5月20日~6月20日です。その後一ヵ月でらっきょうの植え付け時期になるので、その間、土壌消毒や肥料散布で大変忙しいそうです。また、梨の花がその頃に咲いてくる時期なので、花の交配に忙しくその後袋かけや消毒などで梨の収穫が終わる9月まで梨への手間もかかります。



砂丘地帯に広がるらっきょう畑

期待を寄せる観光農園とサンドパル



小高い山に広がるなし園と直売所 写真-1

西尾さんは二十世紀梨を観光農園と、サンドパルという名の砂丘情報館の売店で販売し、また、固定客向けの進物用としても販売しています。梨の観光園や直売は、以前と比較してお客さんが少なくなっているのが、ここ5~6年の傾向です。また、年に一度の梨狩りを、イベント的レジャーとして実施しています。以前は地区の子供会とフリーの客がマイクロバスで来園して、賑わっていたのですが、近年は減少傾向です。若者が梨山を登って梨狩りをするのが苦手になっているのも一因

かと西尾さんは思います。それはライフスタイルの変化かなと思っています。また、出荷の半分を占める進物用で、以前は15kg箱を10箱、20箱と10万円単位で送っていたのが、15kgから10kg、5kg入りと少包装となりつつあります。注文は固定客とロコミが大半で、ご高齢の方が多く、最近進物用から自分へのお取り寄せにシフトしています。梨はサンドパルでも販売するので完売します。

梨栽培の作業としては、梨の出荷が終わると耕運して施肥します。観光園なので、来場したお客様が土を踏み固めてしまい、耕運が欠かせません。また、梨は傾斜地（写真-1）に栽培されているので、肥料が流れる傾向があります。一方、メリットは水はけが良く根腐れを起こし難いことです。梨栽培で怖いのは台風です。また、冬に雪が積もると唯一の農閑期となりますが、雪が溶けると剪定に忙しくなります。

根付きで大玉は東京、洗いの小玉好みは大阪

らっきょうに話を戻しますと、らっきょうの出荷先は東京と大阪の半々です。東西で好みが違う、東京では根付きの大玉が好まれ、大阪では洗いの小玉が好まれます。

出荷作業は切り子さんと呼んでいるパートの人を40人程雇って、収穫したてのらっきょうを切り揃えます。切り子さんの作業場は5~6箇所分散し、遠いところでは20キロメートルも離れたところまで、掘り立てのらっきょうを運びます。朝から掘り始めて午後3時頃から掘ったらっきょうを切り子さんの作業場に運び、切り子さんが切り取ったらっきょうを集荷するのが午後6時と7時半です。洗いらっきょうは出荷が朝の6時です。出荷は99%農協経由です。

西尾さんは福部町の農協青年部に入っていて、メンバーは14名です。地元での農業普及活動のPRや、年に何回か集まって飲んだり、鳥取砂丘の砂で砂像を作ったり、餅つき大会などを行なっています。個人経営では面積拡大は今が限界なので、もっと高く売れる方策を探っています。これ以上規模を大きくするには会社組織にするしかないのですが、加工と生産を分けて会社にしようにも、資金がなくて踏み出せないでいるそうです。



らっきょう畑にいのししの足跡



なしの直売店の前に立つ西尾さん

らっきょうの病害虫・雑草防除についてもお伺いしました。防除対象の病害虫は、白色疫病とネグサレセンチュウです。スリップスも春先から発生することがあり、5月になり収穫が近づくと、収穫前日数の関係で殺虫剤が使いにくくなりますが、その頃になると発生してくるそうです。一般論として農薬もある程度、畑の顔を見ながら使っているとおっしゃっていました。除草剤はここのところ使っていませんが、らっきょうの手取り除草は人を雇うと20万円程かかります。そのため以前はトレファノサイド乳剤を使用していましたが、最近ロロックス水和剤を効果薬害含めて検討しています。

さて、西尾さんの家族をご紹介します。西尾さんは弟さんと二人でらっきょう畑と梨園を切り盛りし、お父さんは梨の栽培管理を中心に、お母さんは体調があまり優れないので軽作業を手伝ってもらい、お祖母さんはらっきょうの切り揃えをしています。

趣味はパソコンの組み立て

西尾さん自身は、学校卒業後住友系の会社に就職しセンサー事業部に所属し、会社員として10年間大阪で暮らしましたが、ご両親の体調が思わしくないということで、帰農することに決めたそうです。ご趣味を伺ったところ、パソコンの組み立てとか。ハードディスクの容量を増やしたり、ブルーレイレコーダーの蓋を開けたりと、さすが元プロというご様子でした。先日も、大阪の日本橋（東京の秋葉原みたいな電気街）に行き部品を買ってきたそうです。

ところで、らっきょうや梨の栽培を始めたのはお祖父さんの時代でしたが、面積は小さく西尾さんの子供の頃は1ヘクタール弱でした。お父さんの時代（15年程前）になると2ヘクタールでしたが、西尾さんが就農（12年前）してから、徐々に面積を増やして4ヘクタールになりました。現在、福部町のらっきょう面積は100ヘクタールですが、以前は120ヘクタールほどありました。西尾さんは周りの農家さんが高齢でらっきょう作りをやめたり、規模を縮小した畑を借りたりして規模を広げていったのです。

会社員だった頃と比べてどうですか？と質問すると「会社員の時の方が良かった」と冗談交りの答えが返ってきました。農業経営者になったことで、ボーナスを貰う方から、配る方に回り、いろいろ大変だと笑っておられました。

らっきょうの相場については、平成19年は鹿児島、宮崎が豊作で価格が下落したけれども、今は高くもないが安くもないとのこと。国産らっきょうとしてしっかり市場を掴んでいて、

西尾さんの自信が感じられました。

お休みはどうされているのですか、とお尋ねしたところ、一週間も休みが続くことはないけれど、地区の慰安旅行には参加することになっているとのこと。他の家に比べると比較的休みは取れるようになっているそうです。

あとがき

最後に鳥取でしか食べられない物を伺いました。それは魚です。ハタハタの刺身、モサエビ（痛みやすいので地元でしか流通していない。オス

は小さいので卵を抱いたメスが絶品で高級品)、むつ(鳥取ではのど黒と呼び、東京では高級魚だが鳥取では安く食べられる)を挙げられました。前日、鳥取市内に宿泊した夜、地元の特産を食べようと小料理屋に入ったのですが、調査不足のためかハタハタ以外は出てきませんでした。

なお、今回の農家さん訪問に際しては、株式会社ランドサイエンスの田邊清さんにご足労をお掛けしました。有難うございました。

(古津、鈴木)



鳥取市内を流れる袋川（まだ蕾のさくら並木）

[目次へ戻る](#)

住友化学アググループ紹介

住化農業資材株式会社**育苗用培土に****プラグトレイ専用培土 “スミソイル®”**

スミソイル®は育苗期間ほぼ無追肥で、根張りの良い健苗が生産できるので、育苗管理も定植作業も楽チンです。

対象作物：レタス、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー等の野菜全般。

スミソイル®品質のヒミツ

厳選素材：保水性、通気性、透水性をバランスよく保持できるよう基材を厳選し、適正な配合比としております。

肥料設計：作物の生長に応じて栄養素をバランスよく吸収できるよう肥料設計しております。

品質管理：厳正な品質検査を行っておりますので、培土の品質は非常に安定しております。

**スミソイル®の物化性**

	スミソイル® N-60	スミソイル® N-100	スミソイル® N-150	スミソイル® N-180
チッソ	60mg/ℓ	100mg/ℓ	150mg/ℓ	180mg/ℓ
リンサン	140mg/ℓ	250mg/ℓ	350mg/ℓ	500mg/ℓ
カリ	60mg/ℓ	100mg/ℓ	150mg/ℓ	180mg/ℓ
見掛け比重	0.2~0.3	0.2~0.3	0.2~0.3	0.2~0.3
pH	5.5~7.0	5.5~7.0	5.5~7.0	5.5~7.0

製造時充填容量 45ℓ /袋

他にラインアップとして、育苗期間が長期にわたる白ネギ（一本葱）用のネギ類専用培土や、初期肥効を抑え育苗後期の肥効を長くしたロングタイプのスミソイルもございます。

【お問い合わせはこちらまで】

住化農業資材(株) 本社 種子コート部 TEL : 06-6204-1243
東日本営業所 TEL : 0285-23-1935

[目次へ戻る](#)

食の安全性について考える(28)

農薬の有効成分と原体



挿絵：加藤さん

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！なっとく！農薬Q&A」をしばらく掲載したい。
(古津)

Q. 有効成分や原体とは何ですか。

A. 農薬の「有効成分」とは、病虫害や雑草に防除効果を示したり、植物成長に活性を示したりする化学物質を指します。

一方、「原体」とは、農薬の有効成分の工業製品をいい、通常、多少の不純物を含むことがあります。

農薬の有効成分は、多くの場合、化学工場で製造されます。原体の形態は、液体か固体ですが、不純物は製造過程でできるだけ除去され、有効成分の純度が高い製造規格を満足したものが工業製品として流通されます。

農薬登録に必要な安全性評価では、届出した方法に従って製造した原体を用いることになっており、不純物を含めた原体について安全性を確認しています。原体の製造方法が変わると、不純物が変わってしまうことがあるので、原体の製造は、届出した以外の方法では製造することはできません。

参考資料

- * 日本植物防疫協会『農薬概説』
- * 日本農薬学会『農薬とは何か』1996、日本植物防疫協会
- * 農薬用語辞典編集委員会編集「農薬用語辞典」2009、日本植物防疫協会

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

施設の難防除害虫ハモグリバエの防除に

天敵農薬 ミドリヒメ

ハモグリバエ類は植物の葉を餌にする微小なハエ類です(体長 1.5~3.5mm)。ハモグリバエ類の幼虫(ウジ)は葉の内部を食害して、白っぽい不規則な模様を描くので「絵かき虫」とも呼ばれます。また、雌成虫は産卵管で葉面に小さな穴をあけ、産卵したりにじみ出る汁液を舐めます。その痕は1mm位の斑点になります。



ハモグリバエ類の被害は寄生密度が高いと生育遅れや収量減が起きますが、低密度の場合でも花き類や葉菜類では幼虫の食害痕(「絵かき」)や成虫の摂食・産卵痕が残るため品質が著しく低下します。

ハモグリバエ類には多くの種類がありますが、野菜類、花き類で問題となる主な種類はマメハモグリバエ、トマトハモグリバエ、アシグロハモグリバエ、ナスハモグリバエ、ネギハモグリバエ、ナモグリバエ等です。ネギハモグリバエを除き、広食性で多くの作物に被害を与えます。ハモグリバエ類は繁殖能力が高く、短期間で増殖して被害を起こします。また、海外からの侵入害虫であるマメハモグリバエ、トマトハモグリバエ、アシグロハモグリバエは一部の薬剤に対して抵抗性があり、難防除害虫になっています。

天敵農薬ミドリヒメは施設栽培でのハモグリバエ類防除にお奨めの薬剤です。以下に、ミドリヒメの製品概要、特徴、上手な使い方をご紹介します。

[製品概要と特徴]

- 施設園芸作物、特に果菜類(トマト、ナス、きゅうり等)の難防除害虫であるハモグリバエ類に対して高い防除効果があります。
- 筒状容器(15ml)にミドリヒメが25頭入っています。有効成分のハモグリミドリヒメコバチ(*Neochrysocharis formosa* Westwood)は国内に生息する土着の天敵で、ハモグリバエ類に対して高い寄生能力があります。(成虫は体長は約0.8~1.6mmで、体全体が金属光沢をおびた青緑色です。卵から成虫になるまでの期間は約15日(25℃)です。)
- 放飼したハモグリミドリヒメコバチ成虫はハモグリバエ幼虫に寄生し、産卵を繰り返して増殖し、ハモグリバエの密度を抑制して、作物をハモグリバエの被害から護ります。
- 作物および人間を加害することなく、作物残留も薬害の心配もない安全性の高い薬剤です。
- ミドリヒメは日本農林規格^{*} JAS認定資材^{*} であり、有機栽培^{*} に使用できます。特別栽培^{*} では使用農薬回数には数えなくてよい農薬です。

[上手な使い方]

- 天敵生物なので、製品入手後すみやかに放飼して使い切ります。保存はしないでください。
- ハモグリバエ類の発生初期より7~10日間隔で放飼することがお奨めです。ハモグリバエ類の生育密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあります。
- 本剤の放飼前後の薬剤散布は避けてください。ハモグリミドリヒメコバチの活動に影響を及ぼすおそれがあるためです。
- 放飼後殺虫剤を散布する場合は影響の少ない薬剤を散布するか、或いは害虫の発生している株に限ったスポット散布を行いません。
- 効果が発揮できる圃場条件を整備します。
 - 施設外周りの雑草を防除してください。
 - 施設の開口部(サイド、出入り口等)にネットを張ります。
 - 成虫は黄色に強く誘引されるので、黄色の粘着板や粘着リボンなどを用いて発生状況や防除効果を把握します。

^{*} 日本農林規格、JAS認定資材、有機栽培、特別栽培の内容については先月号(i-農力だより88号、2012年4月27日発行)を参照ください。

今回は、今月号に掲載できなかった施設用生物農薬殺虫剤「ゴツツA」(コナジラミ類・アブラムシ類防除薬剤)をご紹介します。

(鳥取)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

園芸用殺菌剤「アンビルフロアブル」について教えてください！！

Q 1. アンビルフロアブルはどんな特長がありますか？

- A 1.** 本剤はトリアゾール系の殺菌剤で、いわゆる E B I 剤（エルゴステロール生合成阻害剤）に属しています。主な特長は以下の通りです。
- ① 各作物の重要病害に幅広く効力を発揮します。特に、「りんご／黒星病、モニリア病、うどんこ病、赤星病」、「なし／黒星病、赤星病、うどんこ病」、「もも、おうとう等／灰星病」、「かき／うどんこ病」に優れた殺菌効果を示します。
 - ② 極めて低濃度で高い効果を発揮します（2%製剤で 1000～2000 倍希釈）。
 - ③ 予防と治療（侵入菌糸の生育阻害効果）の2つの効果を同時に発揮します。
 - ④ **浸透移行性に優れ**、速やかに作物体内へ行きわたることで、菌糸のまん延を防ぎ、病斑の拡大をストップします。
 - ⑤ 他系統の殺菌剤に対して感受性の低下した各種病原菌に対しても、安定した防除効果を発揮します。
 - ⑥ 使い易く、扱い易いフロアブル製剤で、作物に対する汚れも目立ちません。
 - ⑦ ボルドー液と混用出来ます（りんご）。



Q 2. 果樹の重要病害防除に優れた効果を発揮するとのことですが、作物ごとに上手な使い方を教えてください。

- A 2.** **りんご** 黒星病とモニリア病、うどんこ病との同時防除により、省力防除が可能です。
散布適期は「開花直前～落花直後」です。
- なし** 黒星病の果実感染防止に高い効果を発揮します。鱗片脱落期～開花期、及び落花直後の果実への第一次感染期の散布が有効です。
- かき** うどんこ病に対して「初発生時期（新葉展開期～幼果期）」及び「8月下旬～9月上旬」の散布が有効です。
- もも、ネクタリン、すもも、あんず、おうとう**



ももの灰星病

灰星病による花腐れ防止には開花初期又は満開直後、果実腐敗防止には収穫 20 日前頃～収穫期に 7～10 日間隔の散布が有効です。なお、本剤の使用時期は、「もも、ネクタリン、すもも」では**収穫前日まで**、「あんず、おうとう」では**収穫 7 日前まで**となっています。

Q 3. 樹木類の炭疽病に登録がありますが、この病害の特徴とアンビルフロアブルの上手な使い方を教えてください。

- A 3.** 炭疽病は植物により症状が異なります。主に葉に発生しますが、新梢や果実にも発生します。成葉に発生し易く、葉の周縁部から発病することが多いようです。褐色～灰白色に変色したり、褐色円形の斑点が生じます。病原菌は病斑部や土壌で越冬し、翌春に健全な組織に侵入します。高温、多湿、多雨の年に多発しますが、傷口や日焼けなどの障害があると容易に侵入します。

防除対策

- ① 病葉、病枝、病果は見つけ次第、除去して土中に埋めて下さい。
- ② 密植で通風や日当たりが不良の環境で発生し易いので、日常の管理も重要です。
- ③ **アンビルフロアブルの 1000 倍液**を「発病初期」に 1～2 週間間隔で数回散布して下さい。また、雨上がりに散布することで、はね上がりによる伝染を防ぐことが出来ます。
- ④ 作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を心掛けて下さい。

(小川)

[目次へ戻る](#)



お役立ちプチ情報

シリーズ「どこが違う」(その2)

タマガヤツリとミズガヤツリ

タマガヤツリとミズガヤツリは共にカヤツリグサ科の雑草です。カヤツリグサの語源は草の姿が蚊帳を吊る部分と似ていることから名付けられており、両方の雑草は共にこの姿をして、よく似ています。タマガヤツリは一年生雑草で、多数の小さな種子を作ります。小さな種子ですので、水田での発生初期は小さな植物です。発生初期に水田用除草剤を適切に処理すれば、防除しやすい雑草ですが、水田に残ったものは短時間で成長し、大きな株となったものは種子を10万粒程も作ります。一方、ミズガヤツリは多年生雑草で、親株から長い地下茎を伸ばし、褐色の塊茎を作ります。この塊茎は長さ数cm、幅数mm程の大きさがあり、次の年の代播きがはじまるころには大きな芽を出します。生長速度も速いので、防除の困難な雑草の一つです。



小さなタマガヤツリの種子

大きなミズガヤツリの塊茎



イヌホタルイとクログワイ

イヌホタルイとクログワイも共にカヤツリグサ科の雑草ですが、タマガヤツリやミズガヤツリのような姿をしていません。イヌホタルイは親株が越冬し、春に再生してきますので、多年生雑草の性質もっていますが、主な繁殖方法は種子で、一年生雑草の性質も持っています。最初、種子から細い葉が数枚ですが、その後、直立した円形の茎が出てきます。一方、クログワイは多年生雑草で、親株から長い地下茎を伸ばし、直径1cm程の褐色塊茎を作ります。この塊茎からイヌホタルイとよく似た円形の茎が出てきますので、イヌホタルイと間違われます。しかし、この両雑草は簡単に見分けることができます。クログワイの茎は指でしごととプチプチと音がします。これはクログワイの茎の中が小さな部屋に分かれているためです。クログワイが各地で「バチバチグサ」、「ベチベチグサ」、「ガキノテッポウ」等といわれるのはこの音のためです。一方、イヌホタルイでは小さな部屋には分かれておらず、指でしごいても音がしませんので、確実に判別できます。



イヌホタルイの種子

クログワイの塊茎



(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報 5月16日の主な適用拡大の内容です**適用拡大**

種類	薬剤名	変更点	作物	適用雑草名	使用量ほか		
					は種時 砂壌土～埴土 1kg/10a	は種同時散布機で 施用 全域	
除草 剤	オサキニ 1キロ粒剤	使用時期 使用方法 追加	直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	は種直後～ル'E3葉期 ただし、収穫90日前まで 砂壌土～埴土 1kg/10a	湛水散布又はごく 浅く湛水して散布 全域	1回

(阿部)

[目次へ戻る](#)**病害虫発生情報**

5 / 8 ~ 17

茨城県

* 5月8日 注意報 トマト/トマト黄化葉巻病 (タバココナジラミによる媒介)

当社登録薬剤:コナジラミ類で登録のある薬剤

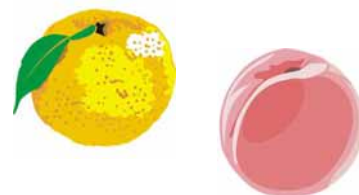
スミロディー乳剤、ダントツ水溶剤、ダントツ粒剤、ディアナSC、ベストガード水溶剤、
ベストガード粒剤、粘着くん液剤(野菜類)

* 5月8日 注意報 小麦/赤かび病

当社登録薬剤:該当なし

* 5月8日 特殊報 きょうな(みずな)/キョウナ萎凋病(仮称)

当社登録薬剤:該当なし

詳細は: <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>**和歌山県*** 4月25日 注意報 うめ、もも、すもも、かき、かんきつ / 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、
ツヤアオカメムシ越冬成虫) JPP 5/11発表

当社登録薬剤:

うめ :ダントツ水溶剤

もも :スミチオン水和剤40、スミチオン乳剤、ダントツ水溶剤、アグロスリン水和剤、アディオオン乳剤

すもも :ダントツ水溶剤

かき :ダントツ水溶剤、パーマチオン水和剤、ロディー水和剤、他

かんきつ:アグロスリン水和剤・乳剤、アディオオン乳剤、ダントツ水溶剤、ロディー乳剤、ビルク水和剤

詳細は: <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>

奈良県

* 5月15日 注意報 うめ、なし、もも、かき / 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ・ツヤアオカメムシ)

当社登録薬剤:

うめ: ダントツ水溶剤

なし: アグロスリン水和剤、アディオン乳剤、アディオンフロアブル、ダントツ水溶剤、パーマチオン水和剤、ベストガード水溶剤、ロディー水和剤

もも: スミチオン水和剤40、スミチオン乳剤、ダントツ水溶剤、アグロスリン水和剤、アディオン乳剤

かき: ダントツ水溶剤、パーマチオン水和剤、ロディー水和剤、他

詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

**滋賀県**

* 5月8日 注意報 麦類 / 赤かび病

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.shiga.jp/g/byogaichu/index.html>

山口県

* 5月9日 特殊報 トルコギキョウ / トルコギキョウえそ萎縮病

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a1720160/00000001/index.htm

鹿児島県

* 4月27日 注意報 さとうきび / イネヨトウ JPP 5/8発表

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/kagoshima/>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)

お詫びと訂正

i-農力だより88号(4月27日発行)の「農家さん訪問記」の記事中に、以下の誤りがありました。
お詫び申し上げますと共に、謹んで訂正いたします。

該当箇所: i-農力だより88号4ページ: 末尾から5行目(見出し行含む)

修正内容: 誤) 除放射性肥料 正) 徐放射性肥料

新企画スタート！通販のご紹介

日本エコアグロ株式会社

“初夏を先取りしませんか？”

通販サイト【Web エコアグロ】からのお知らせ



山形空港のほど近くに、「さくらんぼ東根」という山形新幹線の駅があります。ご存知のとおり山形県は「さくらんぼ」の出荷では日本一ですが、駅名に堂々と「さくらんぼ」を付けてしまうあたり、さすが果樹王国ですね。今回のご案内は、その山形から「さくらんぼ」のご紹介です。品種はもちろん、定番中の定番【佐藤錦】。全て朝採りで直送いたします。

♪「佐藤錦」特選 600g 5,400円（送料込・税別）

さくらんぼの出荷 No.1 を誇る山形から、朝採りの状態で直送いたします。国産さくらんぼの最高峰「佐藤錦」は甘味、香りともに“初夏の宝石”と呼ぶにふさわしい逸品と言えます。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000081/>

予約受付中



♪「佐藤錦」バラ詰 1kg 6,900円（送料込・税別）

こちらはお徳用バラ詰品です。お味は特選品と変わりませんが、お求め易い価格でのご提供です。山形の初夏をお手軽にお楽しみ下さい。 ※500g 入り×2個でのお届けとなります。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000082/>

予約受付中



♪「佐藤錦」バラ詰 500g 4,300円（送料込・税別）

お徳用バラ詰品をコンパクトにしました。「美味しい季節の旬を少しだけ・・・」といった場合に最適です。もちろんお味は折り紙付き！ぜひともご賞味下さい。

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000083/>

予約受付中



♪「紅秀峰」バラ詰 500g 4,300円（送料込・税別）

山形県産さくらんぼの“秘蔵っ子”的存在である「紅秀峰」は酸味が少なく糖度が高いため、甘いさくらんぼとして大変人気があります。7月出荷となりますのでお中元としても最適！！

<http://item.rakuten.co.jp/nihon-ecoagro/10000084/>

予約受付中



商品に関するお問い合わせ：

東京都中央区八丁堀 4-5-4 日本エコアグロ(株) 通販担当 電話 03-3523-8280

[目次へ戻る](#)

トピックス

スミチオン剤発売50周年 記念講演会・パーティーを開催



弊社の殺虫剤「スミチオン」は、おかげさまで本年4月に発売50周年を迎えることができました。そこで、これを記念し、4月23日（月）に都内ホテルにて、「スミチオン剤発売50周年記念講演会・パーティー」を開催いたしました。

スミチオンは、1961年にスミチオン乳剤として農薬登録され、翌年4月より販売が開始されました。以来、幅広い分野での作物と多種多様な害虫に登録内容を広げると共に、様々な場面で使用できる製剤を開発することで、国内をはじめ海外でも広く活用される剤に育てることができました。

式典は、スミチオン剤の取扱会社及び業界団体の関係各位をはじめとする招待客の皆様と、弊社の関係者合わせて約100名が出席のもと、開催されました。

記念講演会では、弊社の代表取締役専務執行役員である福林憲二郎が挨拶にて「スミチオンは住友化学の象徴的な製品であり、汎用性が広く、低コスト剤であり、今後も普及・販売に注力し幅広い分野で貢献していきたいと考えております」と決意を述べました。



山本廣基先生

続いて、熊本大学監事の山本廣基先生（前 島根大学学長）が、「社会のための農薬科学」のテーマで講演されました。

講演ではまず、「社会のための科学」について、近年の提言が紹介されました。次に、合成化学物質への一般的な認識について、科学的な理解と大きく乖離している点に問題があることが指摘されました。更に、反農薬運動の実例を基に、科学的に誤った主張が通ってしまう原因がどこにあるのか、「危険」に対する消費者心理を掘り下げて解説されました。そして、その対策として、消費者自身へのメリットを分かってもらうこと、信頼を得ること、そして、科学的に誤った情報に対しては、迅速にタイミングよく、その何十倍の安全情報とメリット情報を提供することが重要であると提言されました。

このように、スミチオンは、皆様からの変らぬご支持のおかげで、50年という節目の年を迎えることができました。改めて御礼申し上げます。（南）



最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪♪

念願の「にんじん」入手！

皆さん。昨年8月号の本誌「農家さん訪問記」に登場した、徳島のにんじん農家「岡本さん」を覚えておいででしょうか？徳島県はととにもにんじん栽培が盛んで、全国のにんじん供給の一翼を担っており、甘いにんじんはそのままジュースにしてもとても美味しい！というとても興味深い話を聞かせていただきました。でも実は取材時には時期が合わずに、この甘い「にんじん」に出会えず(代わりにきゅうりに会いました)、悔しい思いをしたので「いつか岡本さんのにんじんを食べてみたい」と思っていたのです。そうしたところ、先日、偶然にも岡本さんたちの育てる「徳島県板野郡産のにんじん」に出会うことができました。

4月28日、連休初日の土曜日。場所は銀座三越の最上階。

ここには全農さんが手がける「みのりみのるプロジェクト」の一環として、全国から集めた美味しいものを提供するカフェや食堂があります。また、テラスでは毎月最終土曜日に、全国各地の実にスポットをあてたマルシェ(市場)が開かれています。4月28日は、ちょうど「徳島県阿波の実り」ということで、徳島県吉野川流域にあるJA板野郡管轄エリアから、美味しいものが勢揃いしていました。岡本さんを始めとした板野郡の農家さんが手塩に掛けて作ったにんじん、関西では絶大な人気を誇るという柿島レタス、見たことのない色や形の新作物たち、品評会で数々の賞を受賞するという土成の洋ラン、鳴門金時を餌に与えて飼育したという阿波ポーク、200年前から生産されているという阿波和三盆糖などなど・・・。バラエティに富んだ美味しいものがマルシェに所狭しと並べられていました。



岡本さん

ジュース！



これぞJA板野郡サラダ！

ここで念願のにんじんようやく出会えました。なんと岡本さんの写真も売り場に添えられていました！また、嬉しいことに、にんじんジュースを試飲することができました。すっきりとした甘さで、独特なにんじん臭さも少なくとても上品なジュースでした(これは美味!). ようやく出会えた嬉しさから、にんじんを8本も購入(笑)。他に、噂の柿島レタス、色のきれいな水彩菜と呼ばれる薬物野菜を購入しました。おかげでゴールデンウィーク中、我が家は徳島県産野菜祭りとなりました。

にんじんはどんな料理にも合う万能選手です。素材の

味を活かすべくコンソメ薄味で煮てみたり、薄くスライスしてマリネサラダにしてみたりしました。せっかくの甘みをジャマしたくないので、いずれも砂糖はほとんど入れませんでした。にんじんの甘さで十分でした。マリネサラダはシャキシャキ感がたまらなく美味しくて、大量に作りましたが、きれいなオレンジ色は見た目も楽しく元気も一緒に補給できました。柿島レタスもにんじんに負けず劣らずの新鮮さ！最後までシャキシャキでした(すごい!). 水彩菜はその名の通り食卓に彩りを添える薬物ですが、そのカラフルさに目も楽しませてもらいました。

にんじんに出会えた時、不思議と岡本さんに再会できたかのような感覚になり、懐かしささえ感じました。今度はにんじんの季節に徳島を訪れてみたいものです。(佐伯)



元気の出る
ビタミンカラー!!

～ 編集後記 ～



農家さん訪問記取材の楽しみは、地方の美味しい料理を味わえることです。

初めての街で美味しい店を探すコツは3つほどあります。そのひとつ目は宿泊先のホテルのフロント係に予算を伝え、地元料理店を教えてください。この方法は、当たり外れが少ないのですが、いまひとつ満足できる店は少ないように思います。ふたつ目はネットで事前に調べて行く方法です。この場合の問題点はネット上の値段より少し高いことと、

イメージと少し異なることでしょうか。みつつ目は、街のなかをぶらぶらと彷徨いながら見付ける方法です。不思議なもので店構えからでも店主の人柄が何となく伝わってきます。そんな店に出くわすと、ふらっと暖簾を潜ります。店内は暖かい雰囲気があり、店の人も愛想よく迎えてくれます。料理も美味しくて、値段もリーズナブルなところが多いように私は感じます。

店にカウンター席があれば、そこに必ず私は座ります。理由はカウンター越しに店主や店の女性と会話ができるからです。話題はその土地の歴史や気候風土、特産物などです。それが翌日の農家取材の下調べにもなります。まさに一石二鳥です。時には、隣に座った地元のお客さんに酔った勢いで話かけて、気が合うと酒を酌み交わすこともあります。翌日のインタビューが二日酔いということもあり、これが目下私の反省点です。

(古津)



店主にらっきょうの漬け方を教えていただく。また、食事のメに雑炊が出て来て、小皿にその美味しいらっきょうが添えられていた。

ゴールデンウィーク明けの5月7日から9月30日までは、住友化学のクールビズ（衣替え）です。ネクタイ、上着なしで出勤しても構わないという決まりです。元々衣替えは宮中での行事だったそうですが、明治政府が警察官の制服を6月1日から9月30日まで夏服にしたのが、一般に広がったとのこと。振り返って中学生時代に、黒い詰襟の制服を5月末まで着用して学校に通うのは当時でも結構暑かった記憶があります。今ではどこでも空調が完備されていますが弊社では、冷房温度を上げ節電効果を高めるために5月始めからクールビズを開始しました。昨今は5月でも最高気温が25℃以上の夏日が頻繁にあるので実態に合致した改革といえましょう。

各社とも同様の対策を講じているらしく、電車内でネクタイを着用している人は5月22日現在少なく見受けられます。冷夏だと過ごしやすいのですが農作物にとっては悪影響を及ぼすので、今年の真夏に対する思いは複雑です。

(鈴木)

次月号の - 農力だよりは
6月29日(金)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！



[目次へ戻る](#)